

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-15 年度国際ロータリー会長 ホアン黄其光 Gary C.K. Huang(台湾・台北RC)

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013 年 6 月 5 日

会長:荒山 久美



■ 斉唱

「我らの生業」

于咏さん！ 歡迎光臨。

■ 司会

寺尾弘春会員

櫻井孝充会員

本日めでたい話題です。ノーベル賞受賞、郷土の大学教授おめでとうございます。次回は荒山会長のご主人の番ですね。

■ 出席者報告

会員数：33 名

出席者：25 名

出席率：75.75%

前々回（第 61 回）修正出席率は 100.00%（33/33）

藤森淳会員

地区米山奨学委員会副委員長 金田英和さん、米山学友于咏さん、ようこそアイリスへ。卓話よろしくお願ひします。

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

地区米山奨学委員会副委員長 金田英和様

米山学友 于咏様

後藤卓郎会員

便乗で‘クリスマスケーキ’と‘おせち’のパンフレットを置かせて頂き申し訳ありません。「おせちの一段」を除いて 10%引かせて頂きますので、よろしくお願ひ致します。後藤が受け賜ります。チャッカリ商売させて頂きすみません！

■ ニコボックス報告

地区米山委員会副委員長 金田英和様

今日は卓話にお呼びいただきありがとうございます。

米山学友のウーエイさんと 2 人で卓話します。

よろしくお願ひします。

■ 卓話

米山学友 于咏様

皆さん、こんにちは。ただ今、ご紹介を賜りました于咏と申します。本日、名古屋アイリス RC の例会卓話にお招き頂きまして、誠に有難うございます。皆さんご貴重なお時間をいただき、米山奨学事業について、私自身の経験を通して、お話をさせていただきたいと思ひます。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、中国天津の出身で、18 年前初来日しました。

荒山会長

于咏さん、金田様、ようこそアイリスへ。

本日は卓話をよろしくお願ひ致します。

先週の金曜日、島村副幹事に仕事上で助けて頂きました。

ありがとうございました。

安井会長エレクト

何かいいことはありませんか。

八神会員

1996 年 9 月～1998 年 3 月愛知淑徳大学留学生別科

1998 年 4 月～2002 年 3 月名古屋大学教育学部

2002年4月～2008年3月名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理学博士臨床心理士

2008年4月～現在学校法人セムイ学園専任講師

2005年4月～2007年3月米山奨学生名古屋中 RC

2014年5月～現在愛知ロータリーEクラブに入会

そして、私の専門は臨床心理学です。「臨床心理士」として資格があり、心理カウンセリング、心理治療を中心にした臨床実践となります。私は、2002年名古屋大学の修士課程に入ってから、心理発達相談室、中学校、精神病院など臨床の場で心理検査・治療の活動に携わってきております。児童の自閉症など発達障害；学生の不登校・引きこもり；成人の不安障害、うつ病、アルコール依存など、各年齢層で、多岐を渡ってメンタノレ《ルスの問題》に取り組んできました。また、欧米人を対象に、英語のカウンセリング・サービスも提供しています。

就職して5年半経ちました。私の仕事は、心理学の専門教育を始め、中国における歯科技工と歯科医療の教育、人体解剖の実習、医学英語などに医学や歯学の教育にも携わり、更に、海外のいくつかの国々から留学生を受入れたり、学術交流を行うなど、国際業務も展開しています。心から歯への業務内容の変化は、とてもチャレンジ的でした。専門用語が難しく、専門性が極めて強い。専門用語の壁を乗り越えるため、自ら日中英3カ国語の歯科専門用語集の編集I~取り組みははじめました。現在、常用語捻集が出来ており、ソフトウェアの会社に提供し、世界でも初の3カ国語歯科医学用語集となります。そして、昨年度から、学園の中途退学の防止、教務、総務など事務的な業務も携わるようになりました。

さて、来日の生活を振り返ってみましょう。1996年初来日し、もはや18年間となります。最初の12年間は、もっぱら留学生活。来日当初の私は、殆どの留学生と同様に、社会の最低層に居ました。勉学生活を支えるため、このように、理容室の掃除、新聞記遺、洗い場、そしてスロット屋や省荘など一生懸命アルバイトをし、学費をコツコツ貯めて、頑張っていました。

しかし、ラッキーな私！ここでロータリークラブという組織に出会いました。人生の大きな幸運です！米山記念奨学金は、月14万円があります。旬時給1000円で換算すれば、毎月140時間の自由時間が得られるということになります。月140時間！毎月140時間も自由時間が得られるのであれば、どれだけ沢山勉強できるので

しょうか！そして、お金より更に大事なものは、人生の良い模範ができたことです。なるべき人間像、成功した人生とは何か、そういった理想像が具現化されたことです。お蔭様で、私は成長しました。白目；本語が殆どいらぬ肉体労働から、翻訳、通訳、そして自分の専門領域の講師まで、知的労働者に成長しました。長年の留学生生活の頂点に至ったのは、ロータリークラブと出会ってからであり、皆様のお蔭であるのです。しかし、これは決して私一人のサクセスストーリーではありません。18000人以上の米山奨学生皆がこのようなストーリーを語れる、米山だからこそ出来た「人作り」の素晴らしい事業です。

これは米山です： **This is Yoneyama!!**

・米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会として創設されました。・ロータリー米山記念奨学会は、将来母国左日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは、①学業に対する熱意と優秀性、②異文化理解、③コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれる。

このように、年間、優秀な奨学生の採用数は700人以上、事業費は約13億円と、日本では民間最大の奨学事業となっています。実は、この数値は減少傾向であり、従来の800人、事業費14億円から既に大幅にダウンしております。ロータリアン総人数や寄付金の減少が原因です。

これまでに支援してきた奨学生数は、累計で18,269人（2014年4月現在）。その出身国は、世界123の国と地域に及びます。そのうち、3,300人以上の奨学生は博士号を取得しました。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

そして、米山の独自の世話クラブとカウンセラー制度は、非常に優れたもので、単なる経済的に支援するだけでなく、心の通った人間性に富んだ支援でもあります。自分自身の経験によって、米山記念奨学金は、支援された留学生その本人にはもちろん、田本国にも深遠な意義を持ち、長いスパンで利益をもたらしていると考えています。α 留学生にとっては、貴重な経済的な支援である以上、ロータリアン、即ち人生の優れた先輩たちとの交流ができ、人生の成功者として学ぶことができるのが、大変有難く幸運なことです。言い換えれば、「自分」とい

う個人を超えて、「現在」という次元を超えて、より広い社会と未来に対する展望ができることです。これは、若者の成長に最も素晴らしい栄養剤であると、私が信じています。そして、日本国にとっては、正しく世界に平和と愛の種を蒔く優れた民間外交となります。自に見えなくても、今すぐ返ってこられなくても、いずれいつか、その種が芽生え、速い国々で平和の果実が収穫されるでしょう。

ロゴの紹介

・重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」。

外国人留学生の支援・交流を通じ、闇を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う”心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。

・手は、そうした”心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。更に、就職してからも、ロータリーとのご縁が強くなり続け、まさに絆に変わりつつあります。今勤めている学園の理事長はロータリアンですし、学友になってからも、学友会の役員に務め、お世話になったロータリアン遣と交流を深め続けています。

奨学生から学友へ。学友会は、奨学期間を終了した学友と呼ばれる元米山奨学生と現役奨学生によって組織されている会で、国本では31団体、海外では、中園、台湾、韓国、タイ、ネパール、そしてモンゴルと、6つの国と地区に設置されています。それぞれ地域のロータリークラブと連携し、自主的に活動を行っています。

地区の学友会で米山ファミリーがつながっています。年間行事を紹介：春・秋季合同研修会、総会、忘年会、地区大会など年5回大きなイベントがあり、昨年から新たにWFFへの参加もしています。友愛の輪は、国籍を問わず。米山は、我々日本でのハッピーなファミリーなのです。

更に、学友からロータリアンへ。今年5月、地区唯一のEクラブ、日本では8番目の愛知ロータリーEクラブが設立されました。米山の関係でそのチャーターメンバーになり、ロータリー家族に入らせていただきました。

10万人も超える在日留学生の一人である私は、海辺の一粒の砂のように思います。但し、この砂はとてもラッキーで、美しい貝殻であるロータリークラブ、米山奨学会に出会えたわけです。そこで栄養を頂き、踏かれて洗練され、真珠まできれいに变身し、成長して行きます。

This is Rotary! これは、ロータリー！人間として成長しつづける舞台なのです。個人の努力で成長し、吏に力を合わせて奉仕活動を通して他人の成長を支援する、博愛を広げる素晴らしい尊い組織です。これは、私が理解しているロータリーなのです。

いろいろ話をさせていただき、一言でまとめれば、「報恩・奉仕・繁栄」ということです。報恩、奉仕、繁栄。恩を知り、常に感謝の気持ちを持って、人々のため、社会のために超私の奉仕を行い、社会の繁栄と世界の平和を目指し実現していく。

皆様との出会いは、私の人生の宝です。本当に有難うございます。米山学友、愛知ロータリーEクラブ、于咏でした。御清聴、誠にありがとうございます。

■ 会長挨拶

昨日たいへんうれしいニュースが舞い込んでまいりました。

スウェーデン王立科学アカデミーが、2014年のノーベル物理学賞を名城大の赤崎勇・終身教授、名古屋大の天野浩教授、米カリフォルニア大サンタバーバラ校の中村修二教授の3氏に贈ると発表しました。

赤崎先生と天野先生は、窒化カルウムを使った半導体結晶の加工技術を確立し、長年不可能だった青色発光ダイオードや青色半導体レーザーなどの開発に成功なさったとのことです。中村先生はそれらの量産技術を開発し、世界で初めて製品化した功績が認められたものです。青色ダイオードが発明され量産されるまでは、光の三原色の青色が欠けていたためダイオードによる白い光が作れなかったそうです。さらに青色はその他の色に比べて波長が短いことから、密度の高い記録装置の製造が可能になりました。また青色ダイオードは熱の発生が少ないことから、屋外大型ディスプレイや携帯電話のバックライト、屋内照明や信号機などに広く応用され、原発停止後の省エネに大きく貢献してくれているとのことです。気が付かずにお使いかもしれませんが、青色ダイオード搭載のマウスは、ポインターを早く動かすことができ、また、机の表面の状態に左右されることがほとんどない優れものです。

授賞理由は「明るく省エネルギーの白色光源を可能にした効率的な青色LEDの発明」。日本の受賞は2012年の山中伸弥・京都大教授に続く快挙です。

近年の物理学賞に限って言えば、2008年に南部陽一郎、

小林誠、益川敏英の3先生が受賞されて以来です。申すまでもなく小林先生、益川先生は名古屋大学ゆかりの先生です。さらにうれしいことには、赤崎先生は京大卒ではありますが名古屋大学の教授を長く勤められその功績を讃えて、名古屋大学には赤崎インスティテュートがあります。天野先生は名大の現役の教授でいらっしゃいます。

バス停から見える名古屋大学-豊田講堂の時計は、ちょっと見には下品な青色に光っておりますが、この色こそが件（くだん）の青色ダイオードの色だそうです。何かの折に改めてこの科学の光を見ていただければと思います。

■ 幹事連絡・報告

1. 次回の例会は10月15日（水）